

---

# ARIA The FRONTIER ~ 水先案内人と小さな狩人 ~

聖丸

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

A R I A The F R O N T I E R ～水先案内人と小さな狩人～

### 【Nコード】

N 5 9 0 7 Z

### 【作者名】

聖丸

### 【あらすじ】

本作品はアニヲタの集い創作板にて連載しているものと内容が同じです（創作板のが簡潔になっています）

ドンドルマのハンターである星崎勇輝は、ギルドマスターの命で何故かARIAカンパニーで働く事に。しかし、これがネオ・ヴェネツィア、そして、世界の命運を賭けた戦いの始まりであった…。

## 本作品紹介

ドンドルマのハンターである星崎勇輝は、ギルドマスターの命で何故かARRIAカンパニーで働く事に。しかし、これがネオ・ヴェネツィア、そして、世界の命運を賭けた戦いの始まりであつた…

PS2用ゲーム「ARRIA〜遠い記憶のミラーージュ〜」での出来事から数週間後のネオ・ヴェネツィアを舞台にオリジナルキャラ、ARRIAのキャラが送るヒーリング？系ハンティングSFファンタジー！！！！

本作品はARRIAとモンスターハンターのクロスオーバー小説です。アニヲタの集いというサイトの創作板で連載している小説を本格的に書こうと思います。文才が無いのはキニシナイデネ。

## 主要人物紹介

名前：星崎勇輝 13歳

地球出身の少年で史上初の最年少ハンター。まだ幼いが熟練ハンター顔負けの身体能力を持つ。黒龍を討伐した三大英雄の一人。

幼少期に念動力の実験体として扱われたという過去を持ち、その影響でもう一人の人格であるイサムが誕生し、多少だが超能力が使える。

素直で優しく誰とでも仲良くなる性格だが、若干腹黒い面も。超能力は狩猟には一切使用しないが、密猟者や無差別殺傷する相手には容赦なく使う。

狩人という職に反して年相応な所もあり、趣味はバーニングPTとプラモ作り。加工屋に住んでいた為か、武器の製作も多少だができる。

使用武器はボウガンと大剣の特性を併せ持つガンブレード（主に大剣モード）、片手剣

名前：イサム

勇輝の中にあるもう一人の人格。勇輝とは兄弟のように接し、状況に応じて主人格を交代している（主人格が変わる際、目と髪の色が変わる）

穏やかな性格の勇輝に対してイサムは熱血漢であり、困っている人がいると放っておけないタイプ。勇輝同様悪人には一切容赦は無い。イサム時の時の使用武器は双剣、ガンブレード（主にボウガンモード）

名前：マサムネ

星崎一家が火星に移住した時に雇ったキッチンアイルー。一家からは家族のように接してくれる為、キッチンアイルーの契約期限が切

れた際、正式に家族になった。

キッチンアイルーになる前は狩猟猫であつたらしく、狩りの知識は豊富で兄弟から狩りの先輩として慕われている。

実は地獄猫軍団という獵団のリーダーで、二つ名は竜殺しのマサムネ。ちなみに毛並みはアメシヨーで目が青い

名前：ソル

ホルクという飛竜種の子供。特異固体種らしく他のホルクとは多少違う（目が青い等）。非常に人懐っこく、ネオ・ヴェネツィアの人達のアイドル的存在。

よくアリア社長やマサムネを乗せて街へ買い物に行く時もある。狩猟の時は青白いブレスを吐いて攻撃したり、尻尾の叩きつけをしたりする。

姫屋

名前：星崎龍斗 18歳

勇輝の兄でギルドナイト所属のG級ハンターで黒龍を討伐した三大英雄の一人。一人でライザン2頭を相手にできるほどの腕前を持つ。

勇輝と同じく念動力の実験体であつたが、勇輝のほうが才能が上だった為、凄惨な実験は免れていた。一応超能力は使える。

黙っていたれば二枚目だが、口が開くと三枚目。甘党でコーヒーに砂糖三杯は当たり前、朝から甘い物を食べるほど。ちなみにブラコン。ギルドナイトという職柄、密猟者などを取り締まる事があるが、むやみに命を奪うことはない。なお勇輝同様武器の製作ができる。

使用武器はガンランス、ヘビィボウガン

オレンジぶらねっと

名前：メリッサ・ジークフリート 15歳

ユクモ村出身の見習い受付嬢で黒龍を討伐した三大英雄の一人。受

付嬢だが、上位ハンター並の実力を持つ。

一人前の受付嬢になる為、ドンドルマに修行をしに行った所に勇輝達と出会った。見かけによらずハンマーを使いこなす。

勝ち気な性格で怒ると怖い。勇輝は弟のように接しているが、異性としても意識している。女の子らしく可愛い物が好き。

使用武器はハンマー、弓

他

名前：アンセス ????

勇輝達の前にたびたび現れる白いドレス風の服を着た謎の少女

シュレイド城近くの村からネオ・ヴェネツィアの郊外に引越してきたと言うが・・・

## プロローグ

砂塵の大都市ロックラック。交易や腕利きのハンターで賑わうこの街に一匹のアイルーがハンターズギルドロックラック支部を統轄するギルドマスターに相談を持ちかけてきたことから物語は始まる。

ネコート「急に訪問して申し訳ありません」

およそ砂漠の装備にしては不釣り合いな格好をしたこのアイルーは、ヒラフヤ山脈の麓の村であるポツケ村を担当するギルド猫「ネコート」である。

ギルドマスター「いいつて事よ」

ギルドマスターはネコートの突然の訪問でも快く応じた。

ギルドマスター「で、なにか問題が起きたのかい？こんな遠いところまで相談しに来るといふ事はよほど大変な事なんだろう？」

ネコート「はい、実は先日ある方から近いうちにネオ・ヴェネツィアがモンスターの影響で水没するという情報がありました」

ネオ・ヴェネツィアはロックラックが管轄する街である。地球の水没した街ヴェネツィアをモチーフにした観光都市だ。

ギルドマスター「ネオ・ヴェネツィアか・・・たしかにロックラック支部の管轄だが、何故ポツケ村のネコートさんにその情報が来たんだい？」

ネコート「私とその方は旧知の仲なので、よく情報交換をしているのです」

ギルドマスター「そうかい、しかしそのモンスターってのは恐らく古龍種の可能性が高いだろうなあ」

ネコート「はい、それにただでさえあの街は時期によって高潮現象が起こるので、その古龍種の襲撃を受けた場合の被害は計り知れませんが」

ギルドマスター「最悪の場合は街そのものが消滅するかもしれんということか・・・」

ネコート「はい、なので早々に手を打たなければなりません。あの方は不思議な力を使用しますが、古龍から街を守るだけの力はありません。街にハンターを派遣したいのですが…」

ネコートの頼みにギルドマスターは少し困った顔をした。

ギルドマスター「けどこちらも古龍の襲撃に備えないといけねえ。

この間もジエン・モーランの襲撃があつたばかりだからな」

ネコート「ではどうしたら…」

悩むネコートにギルドマスターは少し考えた後

ギルドマスター「……よし、あいつ達なら大丈夫だろう」

ネコート「なにか心当たりがあるのですか？」

ギルドマスター「先週3人の仲間と共に伝説の黒龍を討伐したハンターがドンドルマにいる。そいつはまだ13歳だが特殊な力を持ったハンターだ」

ネコート「ではそのハンターに街を守ってもらいましょう。ですが一人で大丈夫でしょうか？」

ギルドマスター「じゃあ3人とともに街に派遣しよう。街の代表に話をつけなきゃあな。宿の手配もしなくちゃいけねえ」

ネコート「宿ならご心配なく。私の知り合いの会社に泊めてもらうようにしますから」

ギルドマスター「そうかい？なら宿のほうは任せませい」

ネコート「しかし、条件付きで滞在させることになりましたがよろしいですか？」

ギルドマスター「条件？」

ネコート「水先案内人になることです」



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5907z/>

---

ARIA The FRONTIER ~ 水先案内人と小さな狩人 ~

2011年12月20日00時45分発行